

新着本
情報

公民館図書室 今月のおすすめ



老いる意味
森村 誠一 / 著
中央公論新社



コロナ狂騒録
海堂 尊 / 著
宝島社



土になる
坂口 恭平 / 著
文藝春秋



私がフェミニズムを
知らなかった頃
小林 エリコ / 著
昌文社



クレイジー・
フォー・ラビット
奥田 亜希子 / 著
朝日新聞出版



人新世の「資本論」
斉藤 幸平 / 著
集英社



かんじるえ
大谷 陽一郎 / 著
福音館書店



夢を見るとき脳は
アントニオ・ザドラ / 著
紀伊国屋書店



魔法のクローゼット
くぼしまりお / 著
KADOKAWA

大桑村公民館図書室（村民体育館 横）

開室時間 平日 9時～17時/18時～20時 休日 9時～17時

※ 18時以降に図書室を利用される場合、体育館窓口へお申し出ください。



生涯学習情報「まなびましよう」は大桑村のホームページにカラーで掲載しています。
掲載内容に関するお問合せは 大桑村教育委員会生涯学習係 0264-55-1020

11月

令和3年度 生涯学習情報

まなび ましよう

8号

令和3年11月25日発行

大桑村教育委員会・大桑村公民館



食育イベントのお知らせ

『映画「弁当の日」上映会』

日時 12月11日(土)
13時～【上映時間 97分】

場所 野尻地区館

参加費 500円

「食べることを通してわたしたちの生活や地域を見直すべく、ドキュメンタリー映画「弁当の日」の上映会を開催します。子どもたちが自力でお弁当を作ることによって、食を考え、家族を考え、自立していく。そんな教育実践を追いかけた作品です。



上映会詳細は
左記申込フォームを
ご確認ください

『「えりめし」さんとお弁当・食育ワークショップ』

上映会に併せて、お弁当を作る食育ワークショップを開催します。親子で、友達で、おひとりでも大歓迎！食べることが好きな方や食育に関心のある方、是非ご参加ください。

日時 12月11日(土)
10時～15時15分(上映時間含む)

場所 野尻地区館

人数 10組20名(ひとりでの参加も可)

参加費 ひとり1500円

持ち物 エプロン・三角巾・マスク・お弁当箱、あれば玉子焼き用フライパン

申込〆切 12月4日(土)

講師 金田 英里(かねだ えり)

2016年、東京から大桑村に移住。二児の子育てをしながら、南木曽のゲストハウスで夕食を担当。「えりめし」の名で「Farmstays&Bar 常八(王滝村)」や「ふらっと木曽(木曽町)」でランチ提供などの活動をしている。



ワークショップ詳細は
左記申込フォームをご
確認ください

ご来場の際は、手洗いや咳エチケット・マスク着用などの予防対策にご協力をお願いします。

お問合せ・申込先 080-1053-6436(映画「弁当の日」上映実行委員会・平中)

主催:「弁当の日」上映実行委員会 後援:大桑村教育委員会

お知らせ 大桑村スポーツ公園に新しいバスケットゴールを設置しました

老朽化のため、村民体育館横より撤去していましたバスケットゴールを、スポーツ公園の藤棚横へ新たに設置しています。



図書館準備室便り

図書館長 平中和司



雑誌『現代農業』で有名な出版社「農文協」の創始者、古瀬伝蔵氏の記念事業企画展が行われています。

古瀬氏にはたくさんの著作がありますが、残念ながら、現在それらの著作を書店で購入することはできません。一般の図書館でも所蔵しているところは少なく、また所蔵されていても、古い著作物のため、紙の劣化が進んでおり、館外帯出禁止のものが多いようです。

ところが、こうした古い著作を手軽に読む方法がありました。国立国会図書館では所蔵する資料のデジタル化を進めており、著作権の切れたものから順次ネット上で公開しているのです。ためしに、古瀬氏の著作物を検索してみるといくつかが公開されていました。

今回の企画展では、これらのURLを2次元バーコードで掲示し、スマートフォンなどをかざせば、その場で著作物が読めるように試みました。

電子書籍を貸し出す電子図書館の計画が進んでいることは、前号に書かせていただきましたが、ネット上には「国立国会図書館デジタルコレクション」の他にも、無料で読める電子資料や著作物がたくさんあります。

前号でも紹介した「青空文庫」には、日本の近代文学や古典が揃っています。また「ネットギャラリー」というサイトでは、これから出版される本を、無料で期間限定公開しています。

「小説家になろう」のように、職業作家以外の方が自分で書いた小説をアップしているサイトもあります。最近はこのサイトから新人を発掘して楽しんでいる人も多いようです。ちなみに『君の隣を食いたい』の住野よる氏などは、このサイトから登場した作家の代表です。

市町村誌などは、それぞれの自治体でデジタル化されネット上で公開されることが多いようです。古瀬伝蔵記念事業では二回の講演会が行われました。その内容は冊子としてまとめられますが、こうしたものもデジタル化され、公開されるといいですね。



国立国会
デジタル
コレクション



ネットギャラリー



小説家になろう